



黒中・エコ改修

第3回黒松内中学校・エコ改修検討会開催

平成 17 年 12 月 8 日(木)

舞台をニセコ町に移し開催されました。



■ニセコ中学校視察

第3回検討会はニセコ中学校に集合し、那須野校長、森教頭先生にご案内頂きながらの校舎大規模改修の視察から始まりました。2002-04年度に改修された真新しいニセコ中学校を巡りながら、学校改修によって何が変わるのか、どの様に変貌する事が出来るのか等、具体的にイメージされました。

視察後は、会場をニセコ町民センターに移し、第2部の開幕となりました。「ニセコ中学校の改修」と題して、まず初めにニセコ町教育委員会林学校教育課長からワークショップなどで検討を重ねて地域住民と一緒に作り上げてきた経緯等、事業の全体概要をお伺いしました。

次に、設計を担当した菅原さんから、ニセコ中学校改修設計の特徴をお伺いしました。「職員室が暗くて入りづらい」といった生徒からの意見を取り入れ、ガラスを多用した教室・職員室にしたこと、管理棟中央に天窗付きの階段室を新設し、北国型のアトリウム空間を実現したことなど、エコ改修のアイデアを学びました。ニセコ町建設課黒滝建築管理係長からは、ニセコ町における改修事業の取組のひとつとして、ニセコ町有島団地の全面的改善事例を紹介頂き、環境技術の住宅への展開を学びました。



■事例報告「ニセコ中学校の改修」

後半は小篠先生による講座「教育と連動した学校建築」をテーマに、学校づくりは、ハードとソフトの両面からつくっていかなくてはならないということを前提として、少子高齢化など社会が変化したことによって学校をめぐる状況や学校自体が変化していることの説明があり、科目によって教室を移動する「教科教室型」を導入している学校づくり等について、事例を通しながらの講義をお伺い致しました。少子化による余裕施設の活用方法など「学校づくりはまちづくり・地域づくりにつながる」ことや地域住民も使える施設の必要性など、学校と地域が連携する重要性について学びました。



■講座「教育と連動した学校建築」

ニセコ町の皆様には、急な対応にも関わらず全面的にご協力を頂き、本当にありがとうございました。

次回検討会は 12 月 21 日(水)です。

【ご登場の皆様】(敬称略・登場順)

- ニセコ町
 - ・ 那須野和司：ニセコ中学校校長
 - ・ 森 浩：ニセコ中学校教頭
 - ・ 林 知己：ニセコ町教育委員会学校教育課長
 - ・ 黒瀧 敏雄：ニセコ町建設課建築管理係長
- ゲスト
 - ・ 菅原 秀見：(株)北海道日建設計設計室主管
- 講師
 - ・ 小篠 隆生：北海道大学大学院工学研究科助手
- アドバイザー
 - ・ 菅野 秀和：北海道教育庁企画総務部学校施設課主査
 - ・ 織田 要：北海道教育庁企画総務部学校施設課主査

■第3回エコ改修検討会へ参加しての感想

- 学校をつくる事 = 地域をつくる事 大変勉強になりました。ヒントになりました。
- 外構があらゆる所から差し込み、明るく健康的な学校のイメージを受けました。
- 新設階段をつくったところ、スラブをぬいたところは、潔い決断だと思います。
- 学校の新築には数多く携わってきましたが、改修工事においても新築と同レベルで考えなければならぬ事を実感致しました。
- 今回見学したニセコ中学校と黒松内中学校は、ほぼ規模が同じなので参考になりました。木質を十分に仕上げ材に使用するとよい感じになると思います。暖房は、個別の1台ですが暖かい感じがしました。
- 地域の重要な施設は、地域の皆さんと作り上げていくべきだと感じています。学校はまさにその通りです。
- 多種多様な現代社会に、又、状況が変化していく中では、ハードとソフトをバランスよく考え実施していく事を必ず時間をかけてするべきだと考えます。
- 小篠先生のお話と斉藤さんの話が今後のポイントかと思いました。

■ニセコ中学校を視察しての感想・意見

- 改修にあたり、耐震壁やスラブを撤去し、構造補強してまでの意欲・意識に敬意を表します。硝子が多く、開放的で、しかも家庭科教室の位置には、オープンな住民との交流計画を感じました。素晴らしいと思いました。ただ、屋内体育館の内壁には、吸音効果が乏しいように思えたので、全校集会などでマイクを使用した時の反響が気にかかりました。
- 開放的な空間が広がり明るい感じのする学校で、自分の子供達にもこんなところで学校生活を送らせてやりたいと思えるような校舎でした。

■講座「教育と連動した学校建築」についての感想・意見

- ワークショップの回数の多さ、オープンな交流計画づくり、自由度の高い学校、ひと・ものにやさしい配慮を感じました。
- 「学校づくりは町づくり、地域づくり」地域の人々が参加した学校づくりの成果は、その学校の完成に止まらないと言っていたことが、とても印象的でした。学校づくりのプロセスから、学校に対しての人それぞれの思い入れが生まれ、地域の人々に親しまれる学校となるのだと思いました。
- ニセコ中学の改修は、エコを目標にしている訳ではないので、今回の黒松内中のエコ改修とは、性格が異なるように思いますが、エネルギー以外の改修という事では、大変参考になりました。